



多摩CBネットワーク
TAMA CB

多摩コミュニティビジネスシンポジウム 2019
公式プログラム

2019年2月24日(日)

多摩コミュニティビジネスシンポジウム 2019

テーマ：一生につながる出会いが今はじまる

多摩コミュニティビジネスネットワーク（多摩 CB）では、「まちを元気にするプロデュース力を学ぶ」をテーマにシンポジウムを 10 回開催してきました。この多摩 CB をきっかけに数々の人と人との出会いが生まれ、多くのコミュニティビジネスが誕生し、多摩エリアの課題に対して具体的な活動を通じた課題解決を図っています。そして、その動きに関わっている一人一人の人生の転機や節目にもなっています。

今回は「多摩 CB 物語」として、これまでの活動を振り返り、そこから多摩エリアの未来の姿を探っていくシンポジウムを開催します。

主催：多摩 CB ネットワーク

共催：学校法人 自由学園

後援：経済産業省関東経済産業局 / 東久留米市 / 広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会 / 公益社団法人日本フィランソロピー協会

協賛：ジェイ・ライン株式会社 / 多摩信用金庫 / 株式会社エマリコくにたち / 株式会社 MNH / 株式会社けやき出版 / 株式会社 JR 中央ラインモール / 株式会社ジェイコムイースト西東京局 / 日本政策金融公庫 / NPO 法人 Mystyle / 株式会社まちづくり三鷹

日時：2019 年 2 月 24 日(日) 13:00～

場所：学校法人 自由学園 60 周年記念講堂

参加費：第 1 部・第 2 部 1,000 円 学生無料 ※キャンパスツアー参加の場合は別途 1,000 円

定員：200 名

- プ ロ グ ラ ム -

12:30 開場（60 周年記念講堂）

13:00 **第 1 部**

開演（15 分） 司会 唐木 るみ

主催者挨拶 世話人 有賀 達郎

共催者挨拶 自由学園 学園長 高橋 和也

来賓挨拶 関東経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 高橋 多佳美 氏
東久留米市長 並木 克巳 氏

「多摩 CB 物語」動画上映

13:15 多摩 CB 物語「創世」(60分)

◎キーノートスピーチ 「プロデュース力を学ぶからはじまった」



株式会社いろどり代表取締役社長 横石 知二 氏 (30分)

1958年生まれ。徳島県農業大学校卒、上勝町農協入職。町のみかんが冷害にあったのをきっかけに、過疎化と高齢化に喘ぐ町のおばあちゃんたちの「やる気」を引き出し、高収入の「つまもの」を商品とした彩(いろどり)事業開始。年売上高2億6,000万円のヒット産業は町に1ターンの若者を増やす副産物をもたらした。2009年より、第三セクターの株式会社いろどり代表取締役社長。

◎パネルディスカッション

(30分)



好齢ビジネスパートナーズ 堀池 喜一郎(世話人)

77歳のアクティブシニア。59歳で企業人から三鷹市の地域情報化支援NPO活動に転身した。64歳で退任後、シニアへ竹とんぼ教室講師、「ネット発信」を指南する。75歳で養老孟司の「唯脳論」で目が覚め、地方創生・2地域居住の転身を模索。百歳人を目指したい。



NPO法人マイスタイル代表理事、広域関東圏CB推進協議会幹事 竹内 千寿恵(世話人)

商店街生まれの商店街育ち。大学卒業後、教育出版会社で編集に従事。結婚後、1~2年おきに8回の転勤生活。その間の子育ておよび両親の遠距離介護を通じて、地域のサポートの重要性を実感。その体験がベースとなり2006年11月、コミュニティビジネス活性化を目指しNPO法人を設立。「暮らすまちで仕事をつくる」がテーマ。生活感を大切にしている。



多摩大学総合研究所 客員教授 長島 剛(世話人)

1964年生まれ。多摩信用金庫では個人、法人、地域の課題解決業務に長く関わる。2019年から多摩大学経営情報学部教授。多摩エリアを俯瞰するのが三度のパンより好き。現場をふらつきながら、上空にドローンを飛ばして見たかのような妄想をする。パン職人見習い。



《コーディネーター》

多摩大学経営情報学部准教授 地域活性化マネジメントセンターセンター長 松本 祐一 氏

1972年生まれ。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。専門はソーシャルマーケティング。学生時代にNPO運営を経験後、市場調査会社で商品開発に携わり2005年から多摩大学総合研究所勤務。多摩地域を中心に企業、行政、NPOの事業開発支援に従事し、セクターを超えた「協創」をコーディネートしている。

◎プロローグ、デンマーク体操 (15分)



自由学園最高学部体育科主任 准教授 早野 曜子 氏

自由学園では学園創立間もなくデンマーク体操を取り入れ、現在も全学園生が参加して毎年体操会を行っています。長時間座ったままのみなさんの身体をほぐせるような体操をしましょう。

◎プロローグ、挑戦スピーチ①



J:COM たまろくと人図鑑司会・PlanT 連携コーディネーター・FM 西東京 司会 有賀 達郎 (世話人)

1950年東京生まれ。小中高と武蔵野市に通った多摩育ち。都立大卒業後文化放送を経て、1997年の開局準備から2016年まで途中代表を含めてFM西東京に在籍。その後も番組などを通し西東京の街への関わりを続けている。2016年6月からは、たまろくと人図鑑司会とPlanTコーディネーターも務めている。

◎キーノートスピーチ 「自治体が動くと未来が見える」 (30分)



横浜市政策局 共創推進室共創推進課 課長補佐 河村 昌美 氏

1995年に横浜市役所入庁。2004年に、職員提案制度により「広告・ネーミングライツ事業」の専任部署を新たに立ち上げ、担当として当該事業を推進。2008年からは、公民連携推進のために新設された共創推進事業本部(現:共創推進室)に所属し、様々な民間との連携事業を数多く実施している。全国の自治体や大学、学会等において公民連携に関する講師を多数担当。法務博士。

◎挑戦スピーチ②~④ (各15分)



株式会社グッドライフ多摩 代表 石原 靖之 (世話人)

1967年兵庫県姫路市生まれ。調布市在住。株式会社「グッドライフ多摩」代表。多摩地域の27メディアのネットワーク&「多摩メディアセンター」、イベント&観光&30市町村タウン情報サイト「イマタマ」、多摩のインバウンド用観光動画サイト「AT-TAMA」運営。「多摩ソーシャル・ライターズ倶楽部」主宰。



株式会社エマリコくにたち 代表取締役 菱沼 勇介 氏

1982年生まれ。農地のない街・神奈川県逗子市に育つ。一橋大在学中に、商店街活性化活動に携わる。三井不動産、アビーム・コンサルティングを経て、国立に戻り、NPO法人地域自給くにたちの事務局長となる。2011年、「東京農業活性化ベンチャー」株式会社エマリコくにたちを創業。『東京農村』(赤坂見附)をプロデュース中。



武蔵野市市民部生活経済課産業振興係 課長補佐 平塚 香 氏

所属する産業振興係では農業以外の産業振興を担当しているものの、本当は農政係で交わされる会話(品評会とかハクビシンとか)の方が気になる。趣味は街歩き、現在未来の職業とすべく金継ぎ修行中。むさしの創業サポート施設開設支援事業の企画者。市内に4つの創業支援施設オープン。

15:45 休憩 (15分)

16:00 多摩CB物語「未来」 (75分)

◎キーノートスピーチ「よそもの・わかもの・ばかもの+くせものが必要」 (30分)



日蓮宗 住職、立正大学客員教授 高野 誠鮮 氏

1955年 石川県羽咋市生まれ。大学在学中から科学雑誌ライター、テレビ番組の構成をてがける。実家の寺院を継ぐために帰省し僧侶住職となる。昭和59年から羽咋市勤務、「UFOでまちづくり」を勝手に開始。毎日新聞コラムで「スーパー公務員」と紹介、「TIME誌」でも活動が特集。宇宙とUFO国際会議の開催や公立宇宙科学博物館の建設にこぎつける。総務省地域創造アドバイザー。

◎パネルディスカッション (45分)



一般社団法人フラットデザイン代表理事 シェアキッチン MIDOLINO_代表 舟木 公一郎 氏

一般社団法人フラットデザイン代表理事。シェアキッチン MIDOLINO_代表。北海道大学経済学部卒業。社会的な課題に挑戦する中小企業を中心にブランディングデザインに長年従事。2017年、個性を活かした仕事づくり/協業をテーマにした食のシェアオフィス MIDOLINO_を開設し地域活性を実践。成蹊大学での授業など、講座/セミナーも開催。



たまこまち 一橋大学1年 松下 雄飛 氏

幼少期をチェコで過ごしたこともあり高校生の頃から外国人と交流することが好きで、外国人の集まるゲストハウスやユースホステルに惹かれる。大学進学時に東京に移住した際、外国人の多さに驚き、日本の魅力を発信することに興味を持つ。大学入学後は学生団体たまこまちに所属し、地域体験提起型ゲストハウス『ここたまや』の運営に参加。観光系の企業でもインターン活動で絶賛活動中。



たまこまち 一橋大学1年 沖田 真衣 氏

春休み中の現在でも多いときは週4で谷保に通う、あだ名は「社畜」な一橋大女子。大学時代になんでもいいから思い切り頑張ってみたい・自分の世界を広げていきたいと思い立ち、たまこまちに加入。日々たまこまちの「困ったときに頼れる存在」を目指しつつ、理想の組織やゲストハウス『ここたまや』のプロデュース方法を考えている。



農業デザイナー 南部 良太 氏

国分寺市在住。国分寺市がはじめた「こくベジ」の運営メンバー。途中からアートディレクターとして関わり、野菜の配達もしている。また、赤坂見附にオープンした「東京農村」のディレクション・デザインを担当。一般社団法人 M.U.R.A.の代表に就任。農と食をテーマに人と人のつながりを大切にしている。



《コーディネーター》 つぎの→ 鈴木 幹雄 氏

1961年生まれ。1985年、国鉄に入社、2010年より2014年までJR中央ラインモールの社長を務める。2017年JR東日本退職。現在は、シェアハウス「コトナハウス」(国立市)のオーナーや東京の農業をPRするビル「東京農村」でシェアキッチンを運営する社団法人の理事などを務める。他に中央線沿線の面白いヒト、モノ、コトを紹介するwebサイト「つぎの→」を運営している。

17:30 第2部

多摩コミュニティビジネスフェア（交流会） 場所：最高学部（大学部）棟 1F
 多摩エリアで活躍するCB事業者が出店。多摩こだわりの軽食をとりながら未来を語りましょ
 う。

ブース	団体名
1	PETIT AMERIN ～プチ アメリン～
2	三幸自動車株式会社
3	株式会社ツインキールズ
4	株式会社文伸
5	Tokyo 笠間学会
6	株式会社 TO・BI・RA
7	ムク工房
8	多摩コミュニティ FM 連絡会
9	作ろう！みんなのジモト Wa-shoi パートナ-シッ プ
10	SOF(Sense Of Fun) ソフ
11	日野市産業振興課 (PlanT)
12	ソフィアインデックス商圈分析事務所
13	ラララ♪MaMa
14	株式会社 meetrance
15	ジェイコム西東京
16	西東京空き家らぼ
17	たまこまち
18	びより
19	介護トラベル

2月19日現在

18:30 閉会 中締め

「旅の途中」

～多摩コミュニティビジネス 10周年テーマソング～

作詞/作曲 Kuu

僕らはまだ旅の途中 創りたい未来はまだこの先にある
フワフワした綿毛のような おぼろげな輪郭の
夢を追いかけてたんだ 僕ら出逢うまで
一粒の出会いのタネが 風に乗って運ばれて
やがて小さな芽を出した 愛するこの街で

行き先は自由 そんな旅に出よう
この街をつなげてゆくよ 多摩 CB

僕らはまだ旅の途中 君もさぁ行こう 冒険の旅へ

はじめから決められてる 出来合いのコースなんて
そんなつまらない旅はない チャレンジする方がいい
何度もつまづくたびに 君のこぼした涙は
やがて恵みの雨となり 大地をうるおすよ

行きたい場所へと この道は続いている
みんなの笑顔つくり出すよ 多摩 CB

僕らはまだ旅の途中 創りたい未来はまだこの先にある
君もさぁ行こう 新しい世界へ 愛する仲間たちと 冒険の旅へ
未来へ向かって

